

# 私が望むこれからの長野県

～新たな総合5か年計画策定に向けて～

松本大学佐藤ゼミ

平成23年11月23日

## 私たちが望む長野県の将来像

---

1班(環境):最先端のアナログ都市

～自然環境に対して100歩先を行く長野県～

2班(雇用):長野に雇用

～長野県を好きになり、長野県で働いてもらうために～

3班(観光):『ずく出せ、もてなせ、信州人。』

～心の豊かさあふれる「観光立県」の実現～

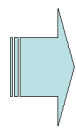
視点

- ・自分がずっと住むとしたらどんな長野県がいいか？
- ・長野県から外へ出て行きたくなる理由は？

景観

現状・課題・強み・弱み等

- ・無駄な道路の舗装が多い。
- ・国道沿いの景観が悪い。
- ・松本駅周辺、市街地の景観が悪い。
- ・きれいな自然の景観は強み



どうすればいいだろう？

- ・便利さを追求すると景観が悪くなる。  
⇒長野県らしさがなくなる。
- ・しかし、若者はどんどん都会に出て行く。  
⇒農業の跡継ぎがいなくなる。



こうなって欲しい！こんなことをすればいい！

自然がきれいなところは開発しないで守る。  
発展させるところはしっかりと発展させ、メリハリをつける！

## エネルギー

### 現状・課題・強み・弱み等

- ・上高地の車・バスの排気ガスが気になる。
- ・原子力発電所の問題
- ・太陽光発電



### どうすればいいだろう？

- ・電気自動車の普及を考える。  
⇒公共のバスやタクシーでの導入  
⇒充電箇所の設置
- ・公共交通機関の充実  
⇒電車・バスの本数を増やす。



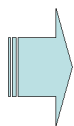
こうなって欲しい！こんなことをすればいい！

**公共のバスやタクシーを電気自動車にして空気をきれいに！  
太陽光発電を公共施設から普及させる！  
各家庭への設置も援助する！**

## 自然環境

### 現状・課題・強み・弱み等

- ・畑・田んぼの減少  
(農業をする人がいなくなる。)
- ・団地の増加
- ・水をはる面積が減ると気温が上がる。
- ・中国人富裕層による山の買占め
- ・スキー場・ゴルフ場が多いが、利用者が減少している。



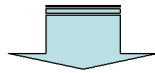
### どうすればいいだろう？

- ・土地の有効な利用の仕方を考える。  
⇒学校が田んぼを買う。
- ・収穫体験などで農業の良さをアピールする。  
(長野県の強み)



こうなって欲しい！こんなことをすればいい！

**使われていない畑や田んぼを有効活用！  
収穫体験などで農業の良さをアピールし、  
農業を始める若者を増やす！**



目指す姿(キャッチフレーズ)

## 最先端のアナログ都市

～自然環境に対して100歩先を行く長野県～

6

## 2班 テーマ:雇用

### 現状・課題・強み・弱み等

#### 0 就職の背景にある問題

- ・漠然とした就職できるかという不安、最低賃金の低さ、親の介護等の将来を考えず県外に出て行く若者が多い、自分のやりたいことができる就職先がない、農家において家族間での働き手がない。

#### 1 農業

- ・就職する人が少ない。農業に対する若い人の関心が薄い。跡継ぎがない。耕作放棄地が多い。

#### 2 教育

- ・他県へ進学する人が多い。大学、専門学校が他県に比べて少ない。

#### 3 福祉

- ・高齢化が進む。団塊の世代が逆に仕事への意欲を削る。福祉につく人材が必要になる。

#### 4 商工業

- ・長野県内に中小企業が多いと思うが若者に情報が届いていない。  
若者が中小企業に目を向けていない。「長野県の大企業は少ない」と思っている。  
就職したくなる企業が県内に少ない。

#### 5 観光

- ・県内の、全国的に知られている観光資源が一部で、全てを活かせていない。

⇒若い人が長野県に残らず、県外へ出て行ってしまふ点が問題

7

## 課題の解決策・強みを活かした取組等



⇒都会の方が魅力的だと思う若者は長野県から出て行く。それぞれの魅力を認めることがまず必要  
⇒長野県は様々な面で魅力はあるものの、上述のように全般的にアピール不足。県内外に魅力が完全に伝わっておらず、情報さえ伝えられれば県内雇用につながる余地が残っているのではないか。

⇒若者に長野県を好きになってもらい、また県外から呼ぶためにも、下記をはじめとした施策が必要

### 1 農業

- ・他県から農業大学生を連れてくる。農業を企業化する。  
農業でどうすれば生活費を稼げるのか、商売のメカニズムを若者等にわかりやすく伝える。

### 2 教育

- ・県内大学、専門学校の実質⇒1、3に関連

### 3 福祉

- ・福祉施設のシステムを充実させるべき。バリアフリー設備を整える。  
福祉に関する大学、専門学校を作る。 《福祉を新しい長野のビジネスの形にする。》

### 4 商工業

- ・若者に対して中小企業に関する情報PRを積極的にすべき。

### 5 観光

- ・県内の人気観光地がなぜ人気になったのかまで知ってもらえるようなアピール方法が必要  
活かされていない観光資源を活かした仕事を作るべき。



目指す姿(キャッチフレーズ)

## 長野に雇用

～長野県を好きになり、長野県で働いてもらうために～

### 3班 テーマ:観光

#### 現状・課題・強み・弱み等

##### (住民)

- ・住民が観光に興味がない。外国から来た人に対応できていない。外から来た人に対して閉鎖的

##### (まち・景観・自然)

- ・水、山、田園などの観光資源が他県より恵まれている。
- ・バリアフリーでない。女子トイレが少ない。
- ・観光客が楽しめない松本駅前。景観への配慮が足りない松本城周辺
- ・山間部と都市の差が大きい。

##### (観光立県?)

- ・観光立県のわりにあまり観光客が来ていない。
- ・PR不足で長野県の良さが他県にうまく伝えきれていない。

##### (交通アクセス)

- ・電車、バスが少なくどこへ行くにも不便。観光地へのアクセスがあまりよくない。

##### (その他)

- ・観光地の高齢化の進展。高齢者の楽しみが少ない。
- ・大学の学費が高い。最低賃金が低い。若者の都会への流出

⇒ 観光に対する一人一人の住民の意識が低いことが原因ではないか。

10

#### 課題の解決策・強みを活かした取組等



##### 【観光県のための人づくり】

- ・松本大学などの観光に関する高等教育機関の設置・充実
  - ・市民を対象とした観光コースの設定による市民教育
- ⇒住民意識の高まり⇒皆が課題解決へ取り組む⇒観光立県の実現⇒雇用増加⇒若者流出阻止

##### 【課題解決のための取組】

###### (人と人との交流のしくみづくり)

- ・高齢者が観光客に地域の素晴らしさを伝える場づくり(満足する観光客、活用しうる資源である高齢者)  
例:世代間で交流できるサークルづくり、語り部育成、ジジ・ババに講義をしてもらう。
- ・外国人向けのガイドの充実

###### (まち・景観・自然の整備)

- ・バリアフリー化。女子トイレの設置
- ・駅前のゾーニング(年代・店の種類ごとにある程度のかたまりにする)

###### (長野県の良さのPR)

- ・旅番組等を通じたマスコミの活用。リピーターづくりのための『現地での』PR、思い出づくり

###### (交通アクセスの整備)

- ・電車、バスの利便性向上(例:キャンペーンを打つ。ビジネス割。女子割)
- ・レンタサイクルのための駐輪場を充実させる。

(若い人、子供にも楽しめる流行に合わせた土産品の開発)

11



目指す姿(キャッチフレーズ)

『ずく出せ、もてなせ、信州人。』  
～心の豊かさあふれる「観光立県」の実現～